

社会

1 出題のねらい

「地理的分野」、「歴史的分野」、「公民的分野」から均等に出題し、社会的事象について、基礎的・基本的な知識・理解と、資料などに基づいて多面的・多角的に考察し、公正に判断する力や適切に表現する力をみることをねらいとした。

- (1) 「地理的分野」については、地理的事象を地図や資料との関係において出題し、世界と日本の地域構成、自然環境や産業などからみた地域的特色などについて問うものとした。
- (2) 「歴史的分野」については、歴史的事象を年表や資料との関係において出題し、各時代の特色と移り変わり、我が国と世界の歴史上の関連などについて問うものとした。
- (3) 「公民的分野」については、現代の社会的事象を資料との関係において出題し、政治のしくみ、経済のしくみ、国際社会における我が国の役割などについて問うものとした。

2 結果の概要

平均点は25.1点で、昨年度より0.7点上がった。分野別の正答率は、「地理的分野」が昨年度より9.5ポイント下がって48.6%、「歴史的分野」が昨年度より8.1ポイント下がって42.4%、「公民的分野」が昨年度より9.0ポイント上がって55.4%であった。全分野を通して、事象間に関連性を見だし、思考・判断したうえで適切に表現することに課題がある。

- (1) 平均点(50点満点)の推移

年 度	3 1	3 0	2 9	2 8	2 7
平均点	25.1	24.4	25.1	26.9	25.6

- (2) 問題数の推移

年 度	3 1	3 0	2 9	2 8	2 7
地理的分野	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0
歴史的分野	1 0	1 0	1 0	1 0	1 0
公民的分野	9	9	9	9	9

- (3) 正答率の推移

年 度	3 1	3 0	2 9	2 8	2 7
地理的分野	48.6	58.1	59.3	65.1	68.9
歴史的分野	42.4	50.5	52.7	55.2	42.2
公民的分野	55.4	46.4	42.6	46.3	54.3

3 結果の分析

○地理的分野

①の1の(1)は対蹠^{せき}点を求める問いであったが、正答率は31.4%と低く、緯度と経度の関係が十分に理解できていない。

①の1の(2)の正答率は91.3%、④の3の正答率は82.2%といずれも高かった。再生可能エネルギーや世界的な視点から見た日本における少子高齢化などの、公民的分野や他教科でも学習する基礎的・基本的な内容については、知識の定着がみられる。

①の3、④の2は、日本や世界の諸地域の学習で習得した知識を活用して資料を読み取る問いであったが正答率は低く、それぞれ30.7%、30.4%であった。既習事項を関連付けて総合的に思考したり判断したりする力が求められる。

○歴史的分野

③の4は、宗教改革の動きに対抗してカトリックの勢力回復を旨としたイエズス会が、どのような活動をしたか問うものであったが、誤答の中には、「アジアで勢力を回復しようとした。」のように、問題文に書かれていることと指定された「アジア」の語をつなげただけのものが多くみられた。また、イエズス会の活動内容を問われているのに理由を答えているものなど、問われたことに対して適切に答えられていないものもみられた。歴史的事象を正しく理解して表現する力が十分でない。

⑥の3は歴史的事象を年代順に並べ替える問題であるが、例年同様正答率は低く、16.2%であった。歴史的事象を因果関係を踏まえてとらえることや、我が国と世界の動きの関連に着目し理解することが求められる。また、問いの選択肢をみて判断するだけでなく、年表も活用して考察し、判断することが大切である。

○公民的分野

②の1の(1)は、正答率が39.1%と低く、被選挙権など我が国の選挙制度についての知識が十分に定着していないと考えられる。

②の1の(3)は、権力分立制のねらいについて、「権力」と「国民の権利」の二語を使って記述させる問題であったが、誤答をみると、権力分立の意味自体が理解できていないものが多くみられた。社会的事象の名称を覚えるだけでなく、そのしくみや意義についても理解を深めるようにしたい。

◆クローズアップ（資料から読み取ったことを条件に合わせて記述する問題）

④の4【設問の条件に即して考える】

この問題は、自動車タイの代表的な輸出品となった理由を、資料をもとに東南アジア地域で学習したことと関連付けて考察し、表現することを求めた問いである。設問の条件として、①資料Ⅳをもとに考えられること、②「生産」と「輸出」の二語を使用すること、③30字以上50字以内の字数で書くことが求められたが、①②のいずれかの条件を満たしていないものが、誤答の4割をこえた。既習事項と資料Ⅳを結び付けて読み取ることや、指定された語を軸として解答を構成することができていない。問いをよく読んで、設問の条件を手がかりにして考察することが大切である。

⑤の3【社会的事象を適切に表現する】

この問題は、市場における供給量と価格の変動の関係をグラフから読み取り、その特徴を表現することを求めた問いである。誤答の半数以上が、グラフの読み取りは概ねできているが、適切に表現することができていなかった。特に「平均価格が減る」、「取扱数量が高くなる」などの誤った表現や、特徴の一部だけを述べるような説明が不十分なものが多く見られた。資料から読み取ったことや考察したことを自分の言葉で適切にまとめる言語活動の充実が求められる。

社 会 抽出答案による正答率等

問 題		正 答	正答率	誤答率	無答率
1	1	(1) ア	31.4	68.4	0.2
		(2) ウ	91.3	8.7	0
		(3) ウ	48.7	51.3	0
	2	(例) 北海道地方は、他の地方に比べて一戸あたりの耕地面積が大きい。	42.6	49.7	2.8
部分点 4.9					
3	エ	30.7	68.8	0.5	
2	1	(1) イ	39.1	60.7	0.2
		(2) ア	61.4	38.6	0
		(3) (例) 権力の集中を防ぎ、国民の権利を守るため。	41.0	44.5	8.0
	部分点 6.5				
	2	労働基準法	63.0	32.3	4.7
3	エ	60.0	40.0	0	
3	1	ウ	60.7	39.3	0
	2	ア	46.6	53.4	0
	3	エ	28.8	71.0	0.2
	4	(例) 宣教師がアジアでキリスト教を布教した。	49.7	34.2	12.6
	部分点 3.5				
5	朱印船貿易	46.8	47.3	5.9	
4	1	(1) 偏西風	76.8	21.3	1.9
		(2) C	26.4	72.4	1.2
	2	エ	30.4	69.1	0.5
	3	イ	82.2	17.6	0.2
	4	(例) タイに進出した日本の自動車メーカーが、現地で自動車を生産して輸出しているから。	25.3	61.6	8.0
部分点 5.1					
5	1	ウ	64.2	35.8	0
	2	公正取引委員会	47.5	40.5	12.0
	3	(例) 平均価格は、取扱数量が少ないときに高くなり、取扱数量が多くなると安くなる傾向がある。	49.6	35.4	5.9
	部分点 9.1				
4	イ	72.4	27.4	0.2	
6	1	日米修好通商条約	49.9	47.5	2.6
	2	イ	36.5	63.5	0
	3	イ → エ → ウ → ア	16.2	83.8	0
	4	エ	50.8	49.2	0
	5	ウ	38.4	61.4	0.2